

1 市の概況

(1) 市が誕生するまで

寒河江市の最古の遺跡は、2万年前の旧石器時代に遡ります。その後、寒河江川や最上川縁辺の段丘には縄文時代の集落が連綿と営まれ、弥生時代を迎えます。

高瀬山には、日本列島北限の古墳が築造され、古代の律令体制に組み込まれていきました。寒河江荘の成立は、平安時代の中期です。

鎌倉時代から安土・桃山時代には、大江広元をはじめとする大江家の所領となり、18代高基が最上義光との戦いに敗れてから最上氏の所領となりました。最上家支配の後、幕府の直轄地となり代官所が置かれました。

明治11年に郡区町村編成法によって、西村山郡に属し、郡役所が開設され、明治22年に市制・町村制の施行により、寒河江ほか6村が誕生しました。桜桃（さくらんぼ）が普及し始めたのは、この頃であると伝えられています。明治26年に寒河江が、明治33年に白岩が町制を施行しました。

昭和29年8月1日に寒河江、西根、柴橋、高松及び醍醐の1町4村が合併、寒河江市が誕生し、同年11月1日に白岩町と三泉村が編入され、現在に至っています。

(2) 現在の状況

本市は、周囲に月山、葉山、朝日連峰、蔵王を望み、清流寒河江川と山形県の母なる最上川が大地を潤す、風光明媚で豊かな人情にあふれた人口約3万9千人の美しいまちです。

本市を取り巻く高速交通網は、2つのインターチェンジが整備されるなど格段の進展を遂げ、交通の要衝となっています。特に仙台圏域とは1時間あまりで結ばれ、より一層の交流促進が図られています。

四季の移ろい、寒暖の変化が大きい気候のため落葉果樹の栽培が盛んで、特にさくらんぼは日本一のブランド力を誇っています。そのほか、野菜、花卉、米なども含め、高品位の農業地帯として発展してきました。

観光においては、寒河江温泉やさくらんぼを中心とした周年観光農業、国指定の史跡や本堂建物・多くの仏像群や舞楽など豊かな文化財を有する慈恩寺等、観光資源も充実しています。また、約4,000人の担ぎ手が威勢良く神輿を担ぐ「神輿の祭典」は、東北でも屈指の規模を誇るなど、四季折々のまつりがまち全体を盛り上げ、交流人口のさらなる拡大が図られています。

さらには、繊維、食品製造業などの地場産業に加え、近年は県内有数の工業団地に成長した中央工業団地に優良企業約90社余りが立地し、本市はもちろん周辺市町の産業経済の基盤となるなど、県内陸部の中核都市として大きく飛躍しています。

少子化対策や保健福祉サービスの充実が図られるとともに、市民主体のまちづくりが進められ、恵まれた自然や歴史を活かし、農業、工業、商業のバランスが取れた、人にやさしく、人が集い、賑わい、楽しみ、豊かに暮らせる活気あるまちづくりが進められています。

(3) 市の自然と位置

本市は、山形県中央部に広がる山形盆地の西部に位置しています。

東は天童市、村山市、河北町、西は西川町、大江町、北は大蔵村、南は中山町に接する総面積139.03km²の都市です。

気候は夏と冬の気温差が大きく、典型的な内陸型気候で四季の区別もはっきりし、降雪期は12月から2月までで、山形県内では雪の少ない地域です。

中心市街部に標高160mの長岡山があり、市のランドマークとなっています。

東に奥羽山脈、西に朝日連峰と月山、北に葉山が眺望され、市街地北東部を寒河江川、南東部を最上川が流れ、長岡山の緑や国道112号フラワーロードなどにも代表される美しい都市です。

2 市の木、花、緑、魚、シンボルカラー、市民歌、市民のまつり

市の木	さくらんぼ	(昭和59年7月2日制定)
市の花	つつじ	(昭和59年7月2日制定)
市の緑	寒河江ギボウシ	(平成16年10月27日制定)
市民歌	寒河江市民歌	(平成16年10月27日制定)
市の魚	清流寒河江川のアユ	(平成26年6月18日制定)
市のシンボルカラー	さくらんぼRED	(平成26年6月18日制定)
市民のまつり	神輿の祭典	(平成26年6月18日制定)

3 さくらんぼの日・さくらんぼのまち寒河江推進条例

寒河江市さくらんぼの日

(平成2年3月27日制定)

毎年6月第3日曜日を「寒河江市さくらんぼの日」と定める。

さくらんぼのまち寒河江推進条例

(令和6年6月24日制定)

寒河江市は、明治時代初期からさくらんぼの栽培が始まり、これまで全国屈指の産地として「さくらんぼ」にこだわったまちづくりを進めてきた。

ここに、さくらんぼを、市民の誇りと位置付け、生産者、事業者、市民及び市の役割を明らかにし、それぞれが協力し、さくらんぼのまち寒河江をさらに推進し、未来へ継承することを基本理念として、条例を制定する。

4 姉妹都市・友好都市

大韓民国	安東市	(昭和49年2月4日締結)
トルコ共和国	ギレスン市	(昭和63年6月25日締結)
神奈川県	寒川町	(平成2年11月1日締結)
台湾	斗南鎮	(令和6年9月5日締結)

5 さがえっこすくすく宣言・さがえっこの育み10か条

さがえっこすくすく宣言

(平成26年6月18日制定)

「さがえっこ」は、寒河江市の未来を担うかけがえのない宝であり、子どもたちが夢と希望をもち、健やかに成長することは、市民みんなの願いです。

私たちは、みんなが手を取り合い、社会全体で子育てを支えるまちを目指し、ここに、「さがえっこをすくすく育むまち」を宣言します。

さがえっこの育み10か条 学校と家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちを育む指針

6 市民さくらんぼ憲章

寒河江市民さくらんぼ憲章

(昭和52年12月16日制定)

わたくしたちは、緑ゆたかな自然と伝統に誇りをもち、フルーツのまちさがえの調和ある発展をねがい、市民ひとりひとりのちかいとしてこの憲章を定めます。

恵まれた自然を大切にし、住みよいまちをつくろう

緑と水と道路のきれいな環境をつくります

自分の手から公害をなくします

奉仕活動にすすんで参加します

おたがいに励ましあい、希望と生きがいのあるまちをつくろう

いたわりのこころをもち、小さな親切を実行します

おたがいに理解しあい、助け合いの輪を広げます

感謝と希望にみちた、しあわせな家庭をつくります

きまりと約束を守り、あかるいまちをつくろう

時間と約束ごとは守ります

人に迷惑をかけず、よいことはすすんで実行します

公共物は大切にします

文化の高い、スポーツのさかんなまちをつくろう

教養を高め、豊かなこころを育てます

ふるさとを愛し、文化財の保護につとめます

スポーツに親しみ、心身の健康につとめます

産業を振興し、躍進するまちをつくろう

勤労をとうとび、つくるよろこびをもちます

自分の仕事に責任をもちます

働くことに誇りをもち、豊かなくらしをきずきます

さがえっこ
すくすく宣言
寒河江市



それぞれの家庭や地域で、各学校や幼稚園・保育所、
PTAとの連携を図りながら、そこやかな「さがえっこ」
を育むために具体的な行動を進めていきましょう。

「さがえっこ」の育み/10か条



さがえっこの育み10か条

	具体的な行動例			
	家 庭	地 域	学校・幼稚園・保育所等	
さ	さわやかなあいさつ いつでもどこでも だれとでも	家族の間でも、いつもあいさつをします	子どもたちに自分から声をかけ、あいさつをします	あいさつが行き交う学校をつくります
が	学力を 支えてのばす 家庭の学習	家庭での学習習慣を身につけさせます	地域で、学校の教育活動を支援します (学校支援地域本部など)	子どもに確かな学力を身につけます
え	絵本や本 読んで広がる 心と世界	絵本の読み聞かせや、親子での読書に取り組みます	読み聞かせの活動を推進します	読書の盛んな学校づくりや絵本に親しむ活動を推進します
つ	つどいあい みんなで参加 地域の活動	家庭で、地域の活動に積極的に参加します	地域での行事やボランティア活動を充実します	子どもの地域活動への参加を奨励します
こ	子どもの行動 大人が手本	親自身がルールやマナーを守り、子どもの規範意識を育てます	大人全体が、社会のルールやマナーを守ります	豊かな体験活動を通して、子どもの道徳性を育みます
の	のばそう メディアと上手に かかわる力	家庭でルールを決め、メディアと上手にかかわる力をのばします	大人が正しい知識をもって子どもに使わせるとともに、手本となる使い方をします。	メディアとのかかわり方に関する指導を充実させるとともに、家庭での取組を支援します
は	早寝 早起き 家族いっしょに 朝ごはん	「早寝 早起き 家族で朝ご飯」を実践し、生活習慣を確立します	子どもの生活リズムの重要性を理解し、取組に協力します	食育を充実させるとともに家庭での取組を支援します
ぐ	グラウンドで 自然の中で 元気に スポーツ 外遊び	子どもと一緒に、外遊びやスポーツをします	大人や子どものスポーツ活動の場をつくります	体育の授業や遊びを通して進んで体を動かす態度を育てます
く	苦労も経験 手伝いまかせて 家族の一員	小さい時から、家庭での役割を与え、感謝の気持ちを伝えます	子どもが地域の一員として役割を果たす場をつくります	集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度を育てます
み	みんなで守ろう 交通ルール	小さい時から、基本となる交通ルールやマナーを身に付けさせます	交通ルールを守るとともに、地域の子どもの安全を見守ります	交通安全教育を充実させ、自分の体を自分で守る意識と態度を育てます
	みんなでかかわる みんなで育む 「さがえっこ」	かかわる時間を多く持ち、子どもとの会話を大切にします	地域の子どもと、かかわる機会を多くつくります	人とのかかわりを大切にした教育活動を進めます